第42回 住まいのリフォームコンクール 応募用紙

山形から発信する 減築リノベ

エントリー 受付番号

280

建方形式

持家一戸建

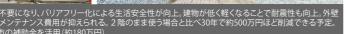
在来木造

(共同建該当住戸階及び階高)

リフォーム前後の写真









Before写真を掲載した看板を設置し、常時展示場として減築リフォームの魅力を発信した。持ち家を持つ方の来場が増え、 積極的にリフォームの提案を行った。



かつては持て余していた広いホールにロッカールームを新設。無駄な廊下も減らせ、帰宅後すぐに荷物や上着を整理でき 5、実用的な空間に生まれ変わった。

リフォーム後の平面図







所在地

該当工事床面積



壁にはグラスウール、屋根と床下には発泡ウレタンを施工。サッシはトリプルガラスの樹脂サッシを採用したことで、Ua値0.37W/ m^2 ・Kを達成し、来場者 にエアコン1台で家全体が快適になることを実際に体験してもらった



既存の柱を抜くことなく、2階を減築しプランニングしたことで解体や構造補強のコストを抑えつつ耐震性を向上する



Jフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想・満足度/社会課題の解決に資する取り組み等、審査基準に適合することを示す具体的内容 [¦]リフォーム前の平面図

本計画は新築住宅を前提に住まいづくりを検討していた施主 にとってSOHOに対応する十分な面積が必要だったが、新築で は予算を大幅に超過してしまうという課題が出発点となった。 減築リノベとすることで、平屋で必要なスペースを確保し、高性 能な住まいを提供することができた。リフォーム工事は通常住 みながらの施工のため、非公開で進むことが多いが、本計画で は施主と半年間展示場として公開するという条件を契約に付加

135.55 m/総工事床面積

することで広くリフォームの良さを発信する機会を設けた。加え て弊社事務所に隣接する立地で施工、運営したことにより工事 中の状態も含め案内、見学することができ地域への普及活動に つながった。三世代同居率全国一位の山形県では同居や増築 によって過剰な空間を抱える住宅ストックが多数存在している。 こうした取組が地域特有の住まい方の課題に対して有効なア プローチになるようこれからも発信していきたい。

[計算式]

2722万円

2722万円

審査基準のうち右記に該当する場合はマ 🔽 a.ストックの有効活用 🗍 b.深刻化する技能者不足への対応 🔽 c.既存住宅流通・リフォーム市場の拡大・活性化 特に配慮した事項 性能向上の特性(文字で記入) 広くリフォームの良さを発信する取組、減築による生活動線の合理化 温熱性能、耐震性能、耐久性能 地域の既存住宅活用の促進、Low-Eトリプルガラスの採用(Ua値0.37W/m²・K) ┃ 防音遮音性能、バリアフリー、室内空気環境 ※「新築竣工年」に年数を入力すると、「築後年数」は自動計算されます。 築後年数 都道 山形 寒河江 年 施工期間 210 日間

135.55 ㎡ 該当部分工事費区分

人、14歳以下 居住者構成(年齢):65歳以上 人、40~64歳 人、15~39歳 人、ペット





┆リフォーム部位: ✔ 居室 ✔ 台所 ✔ 浴室 ✔ 便所 ✔ 洗面所 ✔ 廊下 ✔ 階段 ✔ 玄関 ✔ エクステリア │ マンション共用部分

その他